**保護者の方へ**

**赤ちゃんのきこえの検査（新生児聴覚スクリーニング）のお知らせ**

赤ちゃんの健やかな成長はみんなの願いです。

たくさんの赤ちゃんの中には、生まれつき耳が聞こえにくい赤ちゃんが、1,000人に１～２人います。聞こえにくいことが早くわかれば、言葉を覚える大事な時期に医療や教育など赤ちゃんに必要なさまざまなサポートをすることができます。きこえの状態を正しく知って接してあげることは、赤ちゃんの言葉と心の成長のためにとても大切なのです。

普段の生活の中で、赤ちゃんが音に気がついているかを見きわめるのはむずかしいものです。そこで、赤ちゃんのきこえの検査（新生児聴覚スクリーニング）が広く行われています。この検査は任意ですが、聞こえにくさを早期に

発見するため、受けていただくことをお勧めします。



**Q．どんな検査ですか？**

＊赤ちゃんが眠っている間に、小さな音を聞かせて検査します。痛みや副作用はなく、赤ちゃんを傷つけずに、短時間で安全に行うことができます。

＊この検査は赤ちゃんにさらに詳しい検査（精密検査）が必要であるかどうかを判定するものです。精密検査が必要な場合は、専門の耳鼻咽喉科を紹介いたします。

　また、異常が認められなかった場合でも、成長の過程できこえに障がいが起こることがありますので、聴覚の発達に注意していきましょう。

**Q．すべての赤ちゃんが検査を受けたほうが良いですか？**

＊きこえの障がいは外見ではわかりにくく、赤ちゃんの様子だけから判断することは困難です。早期に発見し援助していくために、検査を受けることをお勧めします。

**Q．費用はいくらですか？**

＊検査料は自己負担で　　　　　　　　　円です（保険適応外）。

また、検査に対する助成金の有無については、各自治体によって異なります。

産科医療機関